

スタッフ用 タンデム車マニュアル

目次

1	タンデム車とは	3
2	パイロットの心得	11
3	パイロット走行上の注意	16
4	パイロット養成	20
5	ストークの心得	24
6	ストーク走行上の注意	29
7	装備	34
8	停車時	41
9	発進時	44
10	降車時	48
11	実地走行例	50

1 タンデム車とは



タンデム車とは

2つ以上の乗車装置、
ペダルが縦列に設けられた自転車。
前に乗る人 ⇒ 「パイロット」、
後ろに乗る人 ⇒ 「ストーカー」 と呼
ぶ



タンデム車のよいところ

障害をお持ちの方に
ご利用いただけます
(身体・知的障害者、足
腰の弱い方々等)

ご夫婦やカップルでの
ご利用に最適です
(ヨーロッパではとても
ポピュラー!)



タンデム車の区分

タンデム車 ≠ 普通
自転車

タンデム車は
「普通自転車」
ではない！

軽車両

普通
自転車

タンデム車

リヤカー

人力車

タンデム車以外の
自転車

タンデム車の注意点

- ・乗りこなすまでに修練が必要
- ・スピードが速い
(40km/時 出ることもある)
- ・車体が長い⇒内輪差に注意
- ・タンデム車は「普通自転車」とは異なり、「自転車歩道通行可」であっても歩道を走ることはできない。

走行場所について

走行できない



自転車歩道通行可

適用されない



自転車を除く

自転車を除く

自転車を除く

タンデム自転車は軽車両の「自転車」ではありますが、
標識で示されているのは「普通自転車」であり、
タンデム車はこれには当てはまりません。

⇒車道を走行すること、図のような標識は適用されないことを
利用者様に説明してください。

歩道を通過する場合

- 交通量が多く、歩道を通らざるを得ない場合は、タンデム車を押して歩いてください。
- タンデム車は歩道を走行できません。



走行ルート

- ・ 交通量の少ない道を選び、走行してください。



サイクリングを楽しむ

1時間に1度、
5分程度の休憩を
とること

一定のペースで
走行を心がける

その地域特有の
景色や食べ物など
を堪能する



3 パイロットの心得



ストーカの目となる

- ストーカは前が見えない
- 加減速や停止動作の声掛け必須
- アナウンスを忘れない

ペダリングはなるべく止めない

- 急に止めると後ろは大きくバランスを崩すため、大変危険



合図

- ・ 停車動作や曲がり動作、速度調整で停める場合は、声をかけて「3・2・1」とカウントを入れる



バランス取りの主体である

- 直線では二人でバランスをとるが、カーブなどでは、傾ける度合いなどは主体となってとる。



4 パイロット走行上の注意



とにかく伝える

- 「加速」「減速」「左折」「右折」
「蛇行」「クランク」「停止」
「ペダリングをとめる」etc
- 視覚で判断していることをストー
力に伝える。



とにかく伝える

- 少し振り向くか大きな声で伝える



コーナーの判断

- ・ ペダルを止めて曲がるのかどうかの判断をし、ストーカーに伝える
- ・ ペダルを止める際は、曲がる側のペダルを上に持ってくる

4 パイロット養成



車体になれる

- まずは単独で乗り、車体感覚に慣れる



車体になれる

- 曲がる際の内輪差を体験する
- ダンシング(立ち漕ぎ)をする

ストー力を乗せてみる

- ・バランスのとり方を体験する



5 ストーカーの心得



パイロットの指示に逆らわない

- 加減速、停止動作のアナウンスに合わせて行動する。



ペダリングは急に止めない

- 急に止めると相手が大きくバランスを崩すため、大変危険



合図

- ・ 停車動作や曲がり動作、速度調整で停めるアナウンスの「3・2・1」に合わせせる



バランスは2人でとる

- ・ 直進は2人でバランスをとるが、カーブなどはパイロットに身を預け、逆らわない。
- ・ 自分で曲がろうとしない

6 ストーカー走行上の注意



指示への返事

- ・パイロットからの指示が来た際、聞こえた旨を「はい！」と返事を返す



前をのぞき込まない

- 左右に身体をずらし前をのぞき込まない。

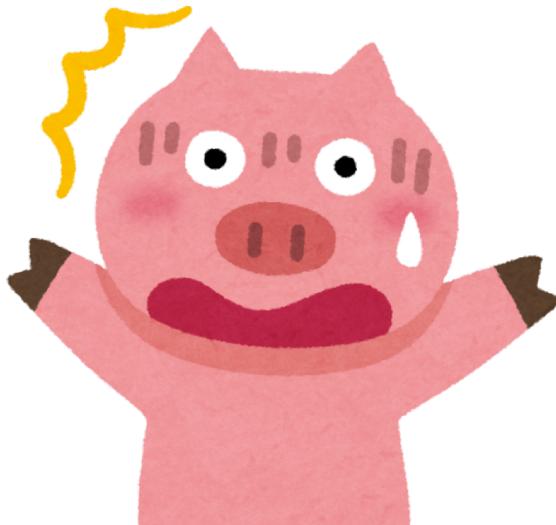


ハンドル操作

- ・原則、ハンドル操作は行わず、ハンドルには手を置く程度に。
- ・パイロットの背に顔面を近づけることで、パイロットの重心移動に沿って動きやすい

ペダルから足が外れた際

- ・パイロットに声をかけ、ペダルに足を乗せて、ペダリングを再開させる。



7 装備





ヘルメット



グローブ



サングラス

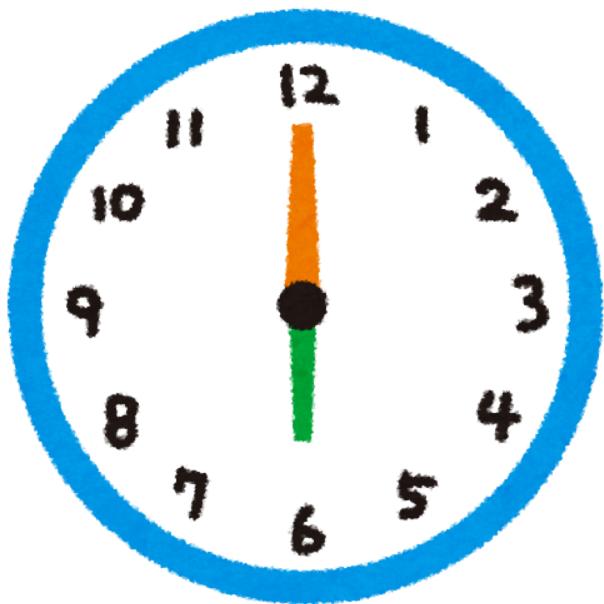
適宜、必要なアイテムを追加する

8 停車時



停車準備

- 右ペダルを6時方向で停める

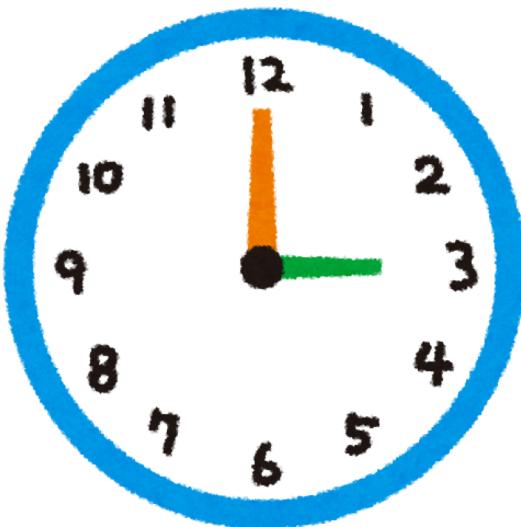


降りる順番

- ・パイロット→ストーカの順番に

出発準備

- ・ ペダルを3時方向に合わせておく



9 発進時＆走行時

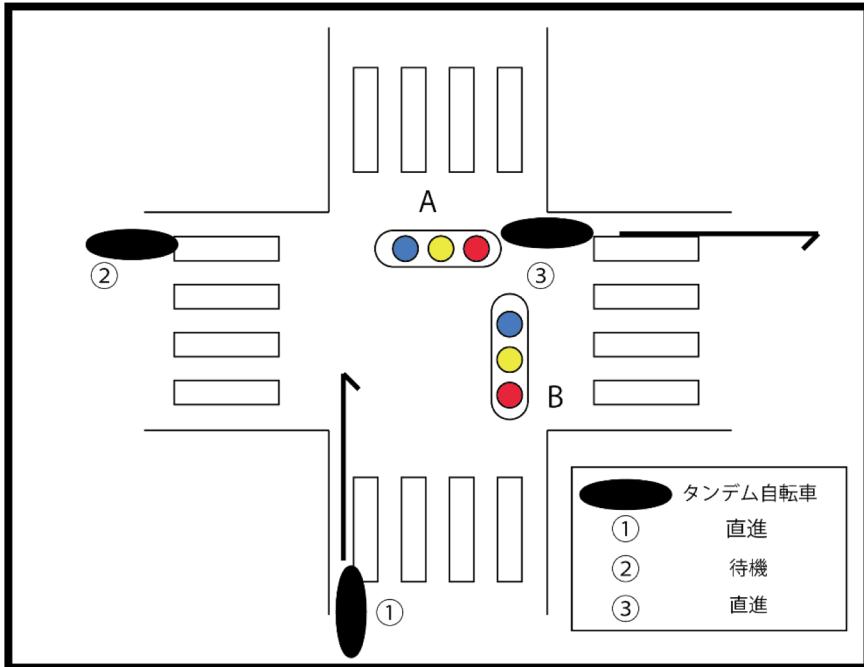


発進時

- ①まずはストークがサドルに座る
- ②発進
- ③パイロットがサドルに座る
- ④ペダルに両者両足を乗せて漕ぐ

右折

- 必ず、「二段階右折」を行う



曲がる時は

- 内輪差に気を付けて曲がる。
- 曲がる側のペダルは上
- ペダルを止めるとときは伝える
- 両者重心を合わせる

※車体をなるべく傾けず、**垂直**にする

10 降車時

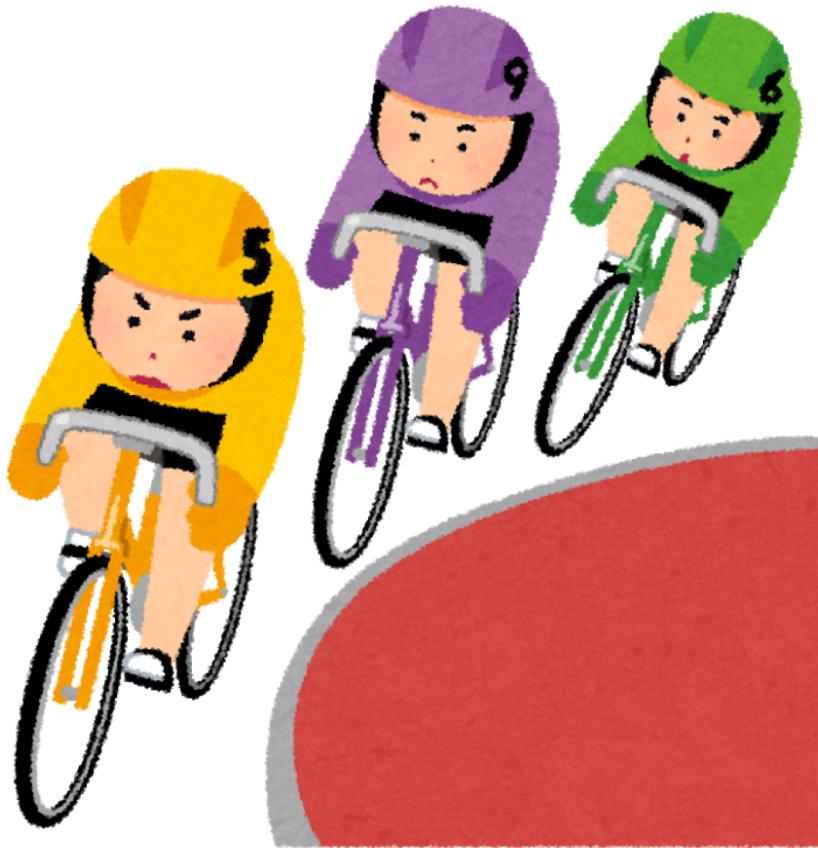


降車時

- ①車体が止まっているのを確認
- ②ストークが降車する
- ③パイロットが降車する

※減速時に降車動作をしない

11 実地走行例





タンデム自転車 實地走行例（近江八幡市 西の湖周辺）

西の湖周辺左回りルート 19km



タンデム自転車 實地走行例（高島市 マキノ周辺）



マキノ周辺省回りルート 15km

1. **※右折するときは2段階右折してください。**

2. **※車道の左側を走りましょう。**

3. **※広い歩道が始まりますが、車道左側を走りましょう。**

4. **※メタセコイア並木 車道側を走りましょう。**

5. **※歩道は走れません。車道左側を走りましょう。**

6. **※国道横断注意。右折するときは2段階右折してください。**

7. **※下り坂、スピード注意。大型車が多いので、路側帯を走りましょう。**

8. **※集落内は車や出会い頭事故に注意。**

9. **※S字カーブ、対向車に注意。**

地図 利用規約 フィードバックの送信 1 km

タンデム自転車 實地走行例（米原↔彦根）



米原↔彦根 右回りルート 15km



一時停止後に交通量の多い道路へ合流する際は、余裕をもって発進しましょう。



見通しの悪いカーブが狭い場合は、速度を落とすとともに、カーミラー等を利用して、安全を確認しつつ走行しましょう。また自転車を押して通行することも考えましょう。



青信号に従い交差点を左折する際は、左折レーンの左寄りを走行し、できる限り躊躇しないように注意しましょう。



一時停止後に見通しの悪い交差点を右折する際は、安全確認後、道路の左端に寄って交差点の向こうまでまっすぐで進み、石に向きを変えて進みましょう。交通量が多い場合は、自転車を押して渡った後に、乗じ込むことを要です。



住宅地内の狭い道路を走行する際は、速度を落とし、歩行者等の飛び出しに十分注意しましょう。



2段階右折(信号機あり)

歩行者多い。通行注意



青信号に従い右折する際は、左折レーンを直進して交差点の向こうまで進み、右へ向きをかえて徐路の左端を進みましょう。



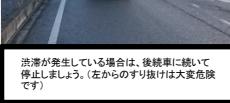
青信号に従い右折する際は、2段階右折をしましょう。(待機する際は、自転車から降りて、で大きな通りを進んで入り徐慢(注)よう)



交差点を直進する場合(左折レーンが指定され、また車線導導器材等で直進が困難な場合)、左折レーンに従い左折後、自転車横断帯を渡りましょう(直進レーンを走行する行為は危険です)。



上り坂で一時停止後に進む際は、自転車を押して交差道路に出た後に発進しましょう。



渋滞が発生している場合は、後続車に続いて停止しましょう。(左からのすり抜けは大変危険です)

安全に楽しくタンデムに乗ってもらいましょう♪